
日本経済展望

2015年8月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆見通し	p. 7
◆金利動向	p. 8
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

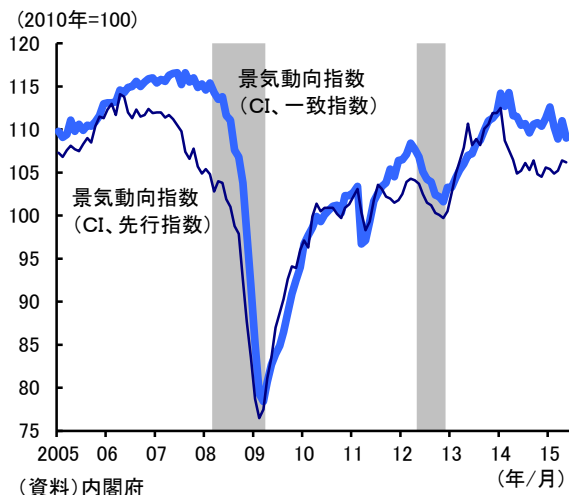
●総括、ファンダメンタルズ全般	下田 裕介	(Tel: 03-6833-0914 Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp)
●家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478 Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
●物価、金融	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
●企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228 Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ（現状分析）	嘉田 直記	(Tel: 03-6833-9061 Mail: kada.tp20507@jri.co.jp)
	奥井 貴大	(Tel: 03-6833-3711 Mail: okui.tp20986@jri.co.jp)

◆本資料は2015年8月3日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

概況：景気は緩やかな回復基調も、一部でもたつき

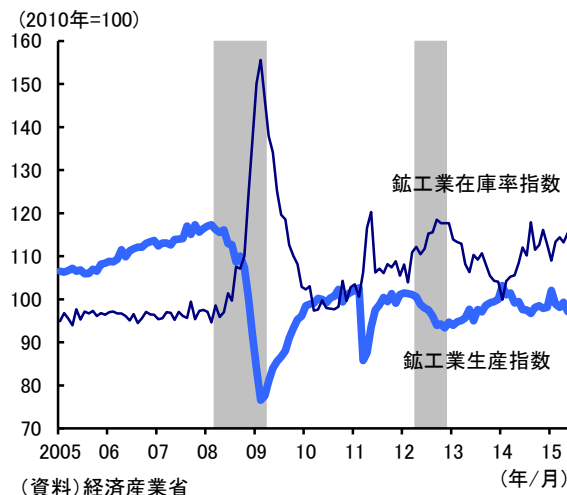
景気

在庫率の上昇などが指数を大きく押し下げ、先行指数は3カ月ぶりに低下



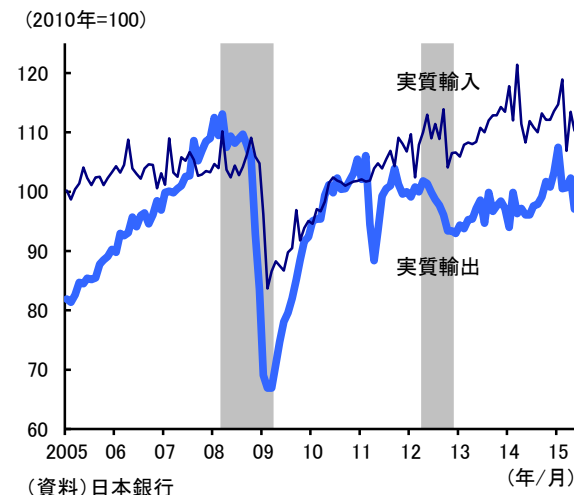
企業

生産は2カ月ぶりに上昇したものの、在庫調整圧力は引き続き残存



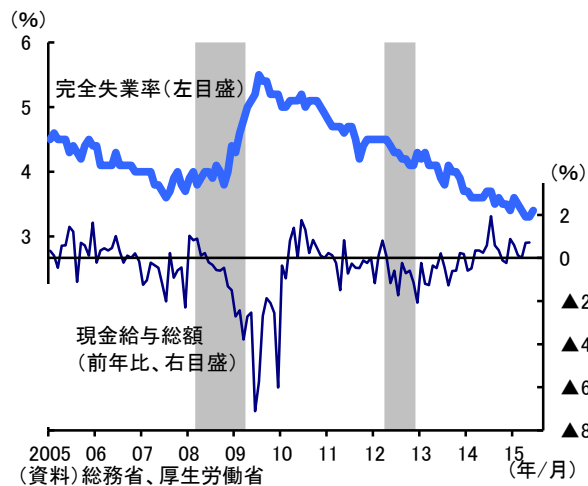
外需

輸出は年初以降減少傾向が持続
輸入は一進一退



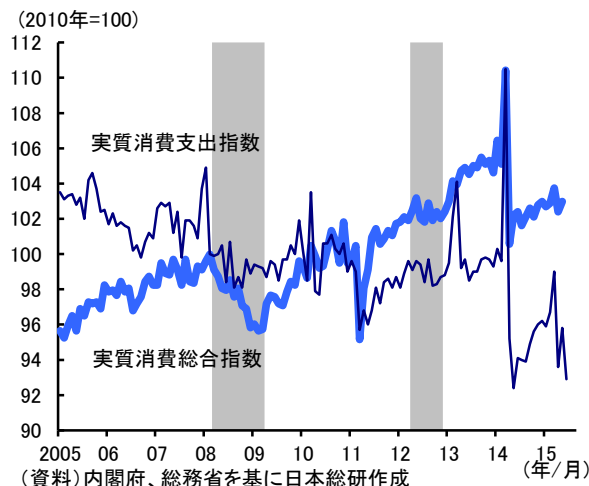
雇用所得

完全失業率が低水準で推移するなど、雇用環境が引き続き良好



消費

実質消費支出は、天候不順の影響などから弱い動き



住宅

住宅着工は大幅に持ち直す一方、マンション販売は足許で弱含み



※シャドー部は景気後退期

景気は回復基調が持続も、自動車など一部で弱い動き

現状

景気分析

見通し

金利動向

◆緩やかな回復基調も、在庫調整圧力が残存

わが国景気は、良好な企業収益や所得雇用環境の改善が続いているほか、先送りしていた設備投資に着手する動きも顕在化しつつあり、総じて緩やかな回復基調が持続。

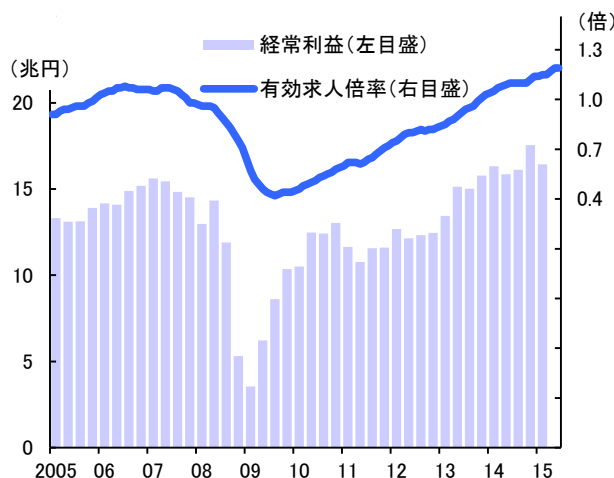
もっとも、足許では一部でもたつきも。家計部門では、6月の住宅着工戸数が2013年12月以来の高水準となったほか、大型小売店販売も消費増税後の落ち込みから緩やかに持ち直している一方、自動車販売台数は、4月に実施された軽自動車の増税などを受けて低迷が持続。

企業部門では、設備投資の機運が高まりつつある一方、生産活動においては、自動車販売台数の低迷を背景とする輸送機械などでの在庫の高止まりが重石となる面も。

◆実質輸出は力強さを欠く状況

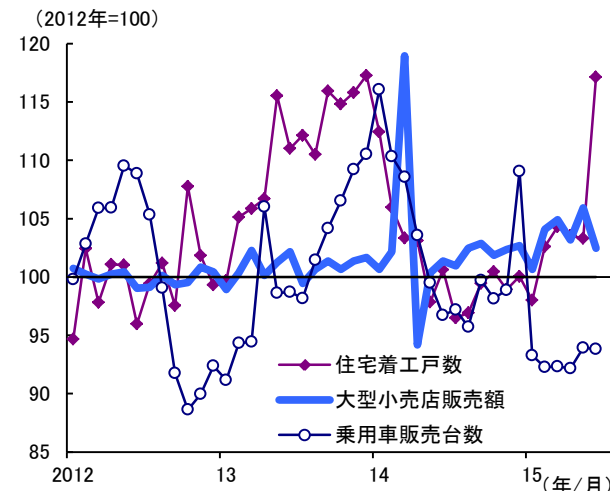
外需では、依然として輸出が力強さを欠く状況。実質輸出は、金や再輸出品の増加により、今年初めに持ち直しの動きがみられたものの、これらの動きはく落するなか、中国の景気減速などを背景に足許にかけて再び減少傾向。

経常利益と有効求人倍率(季調値)



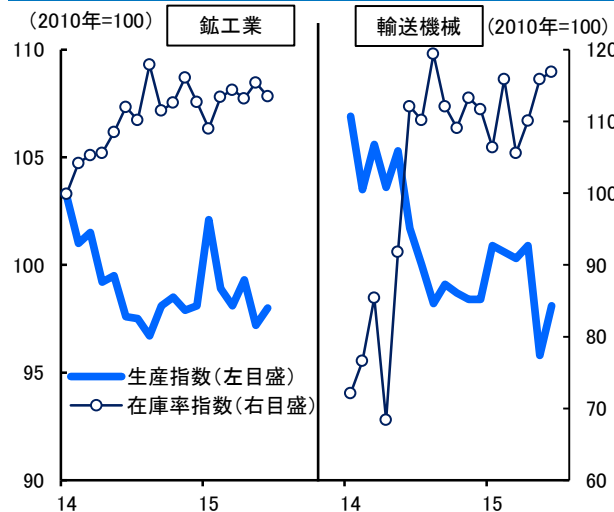
(資料)財務省、厚生労働省
(注)経常利益は金融・保険業を除く。

家計部門関連指標(季調値)



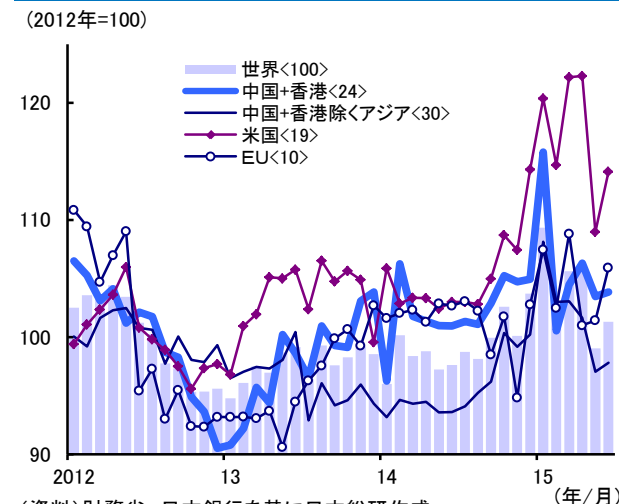
(資料)国土交通省、経済産業省、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会を基に日本総研作成

生産指数と在庫率指数



(資料)経済産業省

実質輸出(季調値)



(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成
(注)◇は2014年度のシェア。

輸出持ち直しに勢いを欠き、貿易黒字定着は期待薄

現状

景気分析

見通し

金利動向

◆輸入減が貿易赤字縮小に大きく寄与

外需動向をみると、原油安と実質輸入の伸び悩みを受けた輸入額の減少が、このところの貿易赤字縮小に寄与。実質輸入は、全体の3割を占める燃料輸入の低迷が寄与。背景には節電・省エネ化の進展と、消費増税後の生産活動停滞に伴う燃料在庫の増加。

もっとも、足許で燃料在庫の増加には歯止め。また、節電・省エネ効果には限りがあるうえ、電源の火力発電依存度は当面高止まりが見込まれ、燃料輸入が一段と減少する公算は小。内需の持ち直しが明確化してくれば、それに伴い輸入は持ち直す見込み。

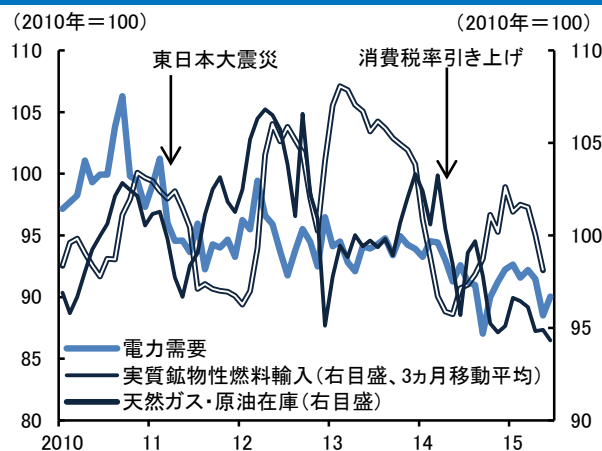
◆先行き、輸出は緩やかな持ち直し、貿易収支は小幅赤字が続く見込み

実質輸出は、足許で減少。品目別にみると、「その他」を除く幅広い品目で減少。とりわけ、全体の約4分の1のシェアを占める資本財（輸送機械除く）が弱含み。背景には米国、中国での設備投資の減速。

先行きを展望すると、円安が一定程度輸出を下支えする一方、中国をはじめ新興国の景気減速が重石となり、輸出は海外景気の緩やかな回復に見合ったペースでの増加にとどまる見込み。

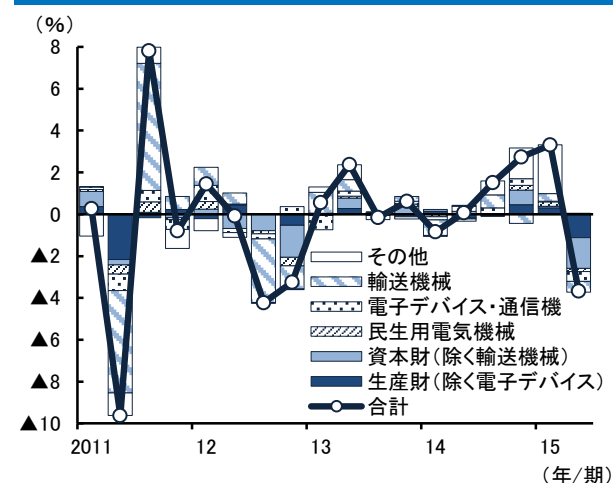
以上を踏まえると、為替、原油相場などの価格要因が現行水準で推移すれば、輸出が伸び悩むなか、貿易収支は小幅な赤字基調が続く見込み。

電力需要、実質燃料輸入、燃料在庫(季調値)



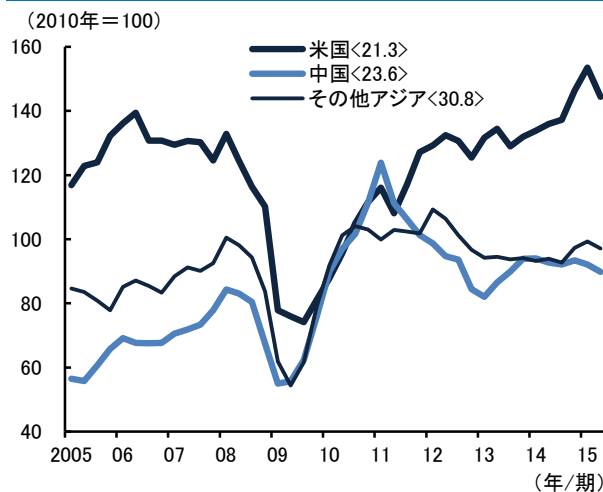
(資料)電気事業連合会、経済産業省、財務省、日本銀行を基に日本総研作成
(注)天然ガス・原油在庫は、石油換算トンで合算。

実質輸出(前期比)の品目別寄与度



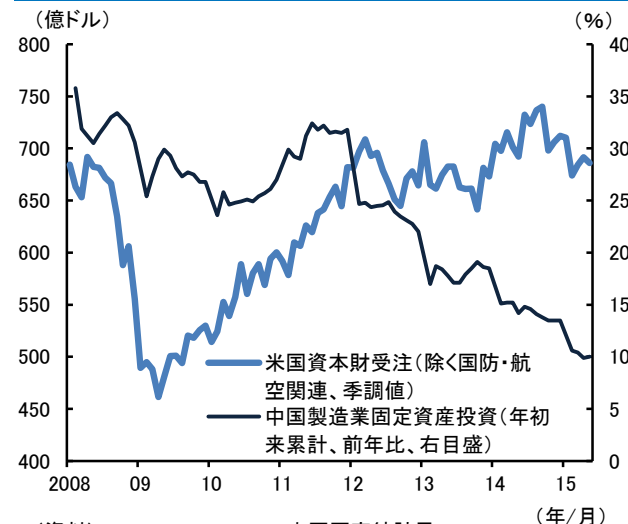
(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成
(注)品目分類、季節調整、実質化は日本総研で実施。

輸送機械除く資本財実質輸出(季調値)



(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成
(注)凡例<>内は2014年度の名目資本財輸出に占めるシェア。

米国資本財受注と中国製造業固定資産投資



(資料)U.S. Census Bureau、中国国家統計局

良好な企業収益を受け、設備投資は持ち直しへ

現状

景気分析

見通し

金利動向

◆企業収益は好調に推移

企業部門についてみると、2015年1～3月期の法人企業統計では、売上高が伸び悩んだ一方、経常利益は過去最高水準での推移が持続。

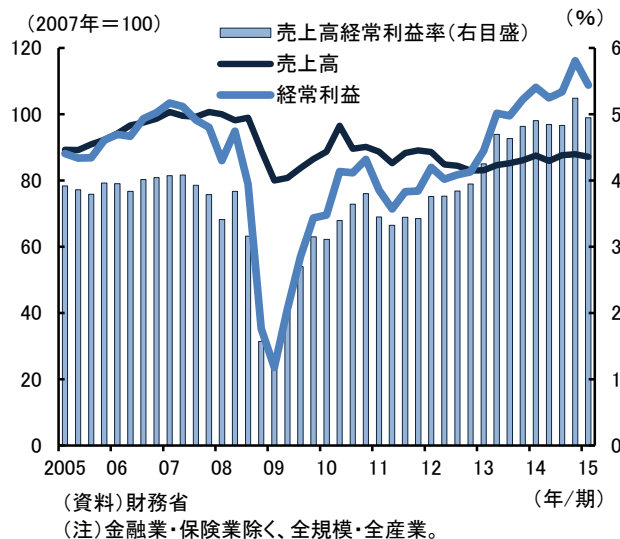
利益率改善の背景には、①既往のリスラ効果に加え、②円安による海外での収益嵩上げ（その他営業外損益要因）、③原油安によるコスト低減、などが指摘可能。とりわけ、足許では、原油安効果（変動費要因）が大きかった模様。

◆設備投資は底堅い推移が期待可能

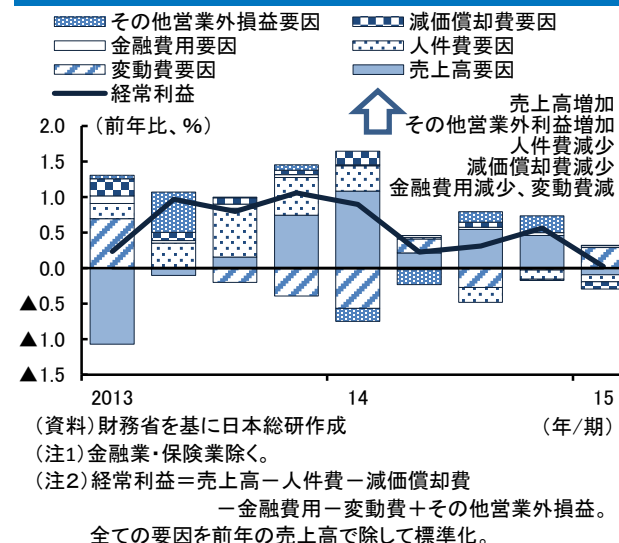
先行指標の機械受注は増加基調が続いており、4～6月期の見通しを大幅に上回る水準で推移。また、法人企業統計では、設備投資／キャッシュフロー比率に上昇の兆しがみられており、設備投資は堅調。

労働分配率も下げ止まるなど、良好な企業収益が賃金増加に波及し、景気の好循環メカニズムが作動しはじめるなかで、先行き維持・更新、合理化・省力化を中心に、設備投資は底堅く推移する見込み。もっとも、設備投資／キャッシュフロー比率が一段と上昇し、設備投資が本格回復するには、国内経済の期待成長率が上昇することが不可欠。

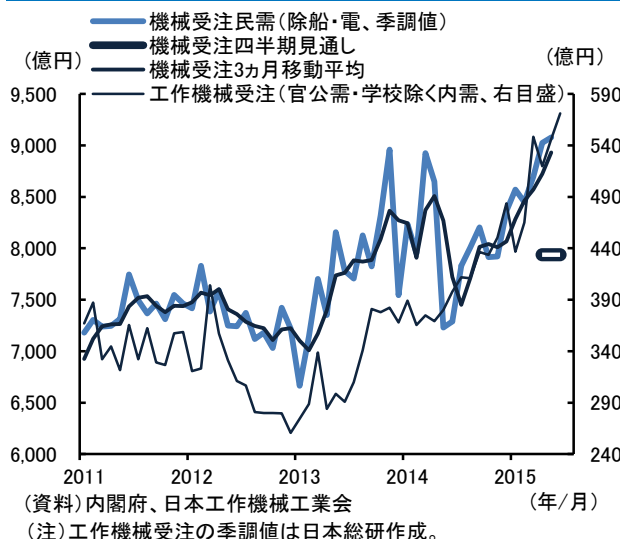
法人企業の売上高と経常利益率（季調値）



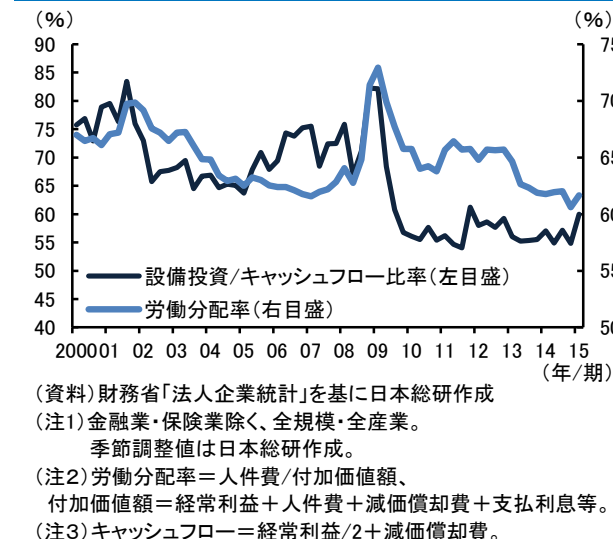
経常利益の要因分解（全規模・全産業）



機械受注と工作機械受注（季調値）



労働分配率と設備投資キャッシュフロー比率



賃金増や原油安が消費にプラス

現状

景気分析

見通し

金利動向

◆消費増税後の反動減は一巡するも、足許は軽自動車税の影響等で下振れ

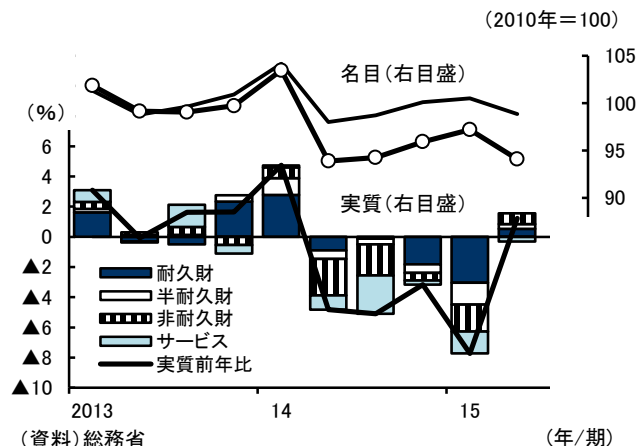
家計部門では、消費増税後の反動減の影響が一巡したものの、天候不順による外食などサービス関連の低迷、軽自動車税増税の影響等により、4月以降も消費の回復は緩慢。前年比でみた物価上昇率は、消費増税影響の剥落と石油関連製品の値下がりにより、ゼロ近辺で推移しているものの、インフレ予想は根強く、消費回復の遅れの一因に。一方で、ゼロインフレのもとでも、デフレ期待が広がらないことは、景気見通しの底堅さを示す側面も。実際、消費者マインドは持ち直し基調。

◆所得雇用環境の改善が消費の回復を後押し

消費の元手となる所得は増加傾向が持続。企業が円安コストの転嫁を実現するなか、経常利益は改善を維持しており、人件費は、売上高人件費比率が横ばいになるなど、売上高の増加に見合うペースで拡大。人手不足が根強いなか、雇用の改善も続く見込み。当面は、原油安を受けた物価の騰勢鈍化が実質所得押し上げに寄与することも期待され、所得雇用環境の改善は、消費の緩やかな回復を後押しする見込み。

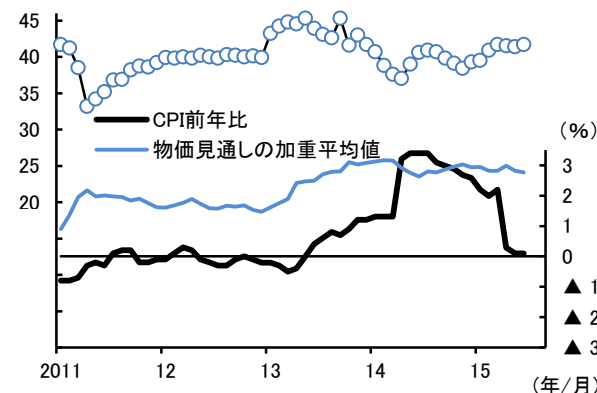
さらに、株価も、仮に足許の水準が維持されれば、家計部門の株式評価益は2015年年間で50兆円超にのぼると見込まれ、消費への資産効果が期待。

世帯当たり消費支出

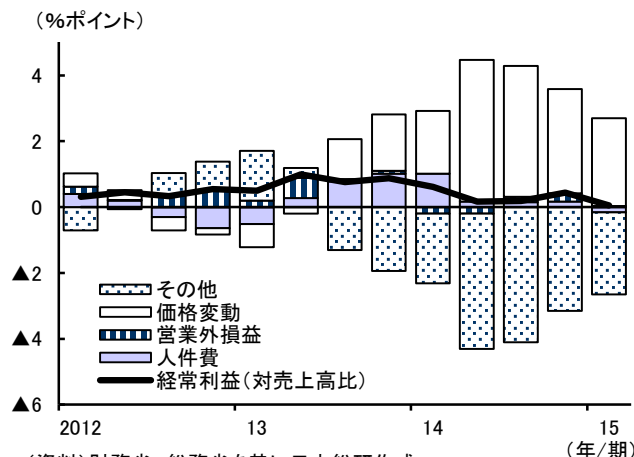


消費者マインドと物価見通しの推移

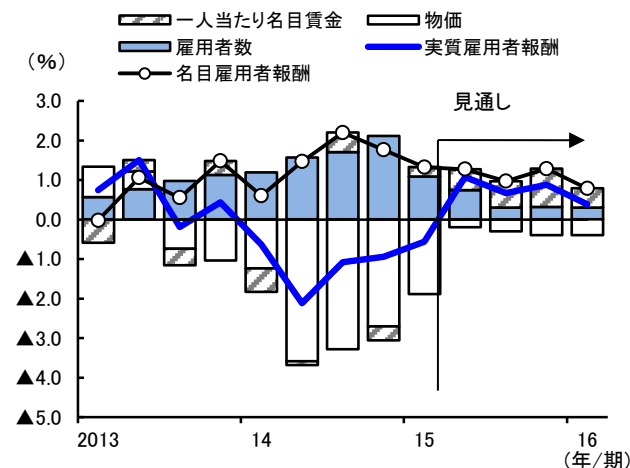
消費者態度指数(左目盛)



経常利益変動(対売上高比)の要因分解



実質雇用者報酬(前年比)



消費者物価は再び騰勢を回復する見込み

現状

景気分析

見通し

金利動向

◆物価は足許で大幅に騰勢鈍化

最近のCPIの前年比でみた騰勢鈍化は、原油価格の下落を受けたエネルギー価格の下振れが主因。電気・ガス料金の算定に用いられる液化天然ガスの輸入価格が原油価格にラグを伴う形で下落(※)しており、当面、物価は伸び悩みが続く見込み。

(※) 日本向け液化天然ガスの価格は、大部分が原油価格に連動する形の契約となっている。

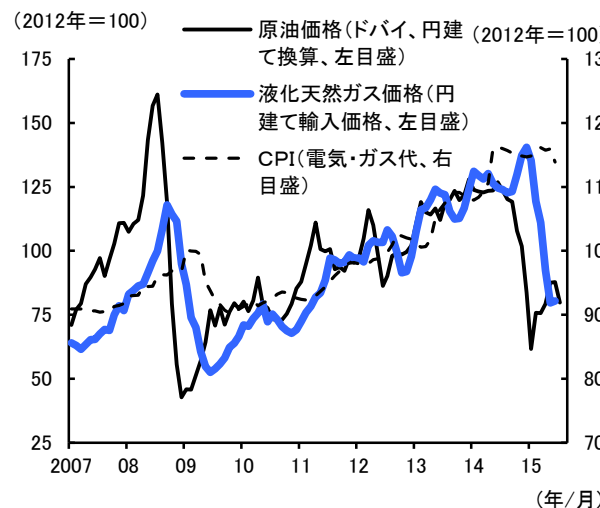
◆今後は再び騰勢回復へ

一方、エネルギー価格を除けば、物価は総じてプラス基調を維持。CPI(食料・エネルギー除く総合)と相関が高い雇用者の時間当たり賃金も上昇傾向が続いており、CPIが再び持続的なマイナスに陥る可能性は小さいと判断。雇用や賃金の改善傾向が続くなか、先行きも内需の緩やかな持ち直しが物価押し上げに作用するとみられることから、原油安の影響が一巡するにつれて、消費者物価は再び騰勢が強まる公算。

◆日銀の物価目標達成には時間

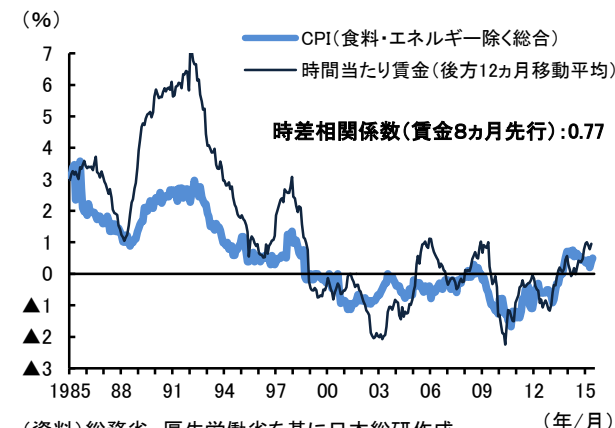
もっとも、「2%での持続的な物価の安定」という日銀の目標達成には、需給環境の改善に伴う物価の押し上げだけでなく、インフレ期待の上昇を通じ、需給バランスと物価の関係を表すフィリップス・カーブが上方へシフトしていくことが不可欠。家計・企業のインフレ期待の上昇やフィリップス・カーブの上昇は、依然として限定的であり、2%の物価目標の達成には時間を要する公算。

原油・天然ガス価格と電気・ガス代



(資料) 日本銀行、日本経済新聞社、総務省を基に日本総研作成

CPIと時間当たり賃金(前年比)



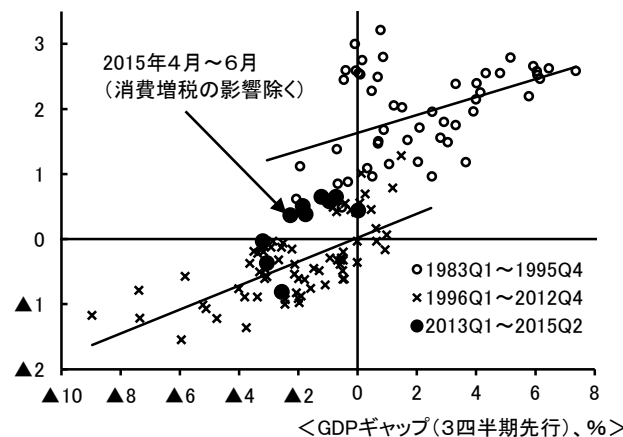
(資料) 総務省、厚生労働省を基に日本総研作成

(注1) 時間当たり賃金=現金給与総額指数/総実労働時間指数。

(注2) 時差相関係数は、CPI(食料・エネルギー除く総合)と時間当たり賃金の単純前年比を基に算出。0~12ヵ月のなかで、最も相関が高いラグ次数を選択。

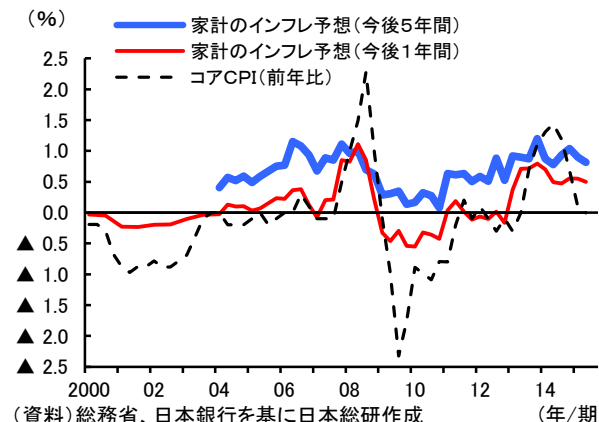
フィリップス・カーブ

<CPI(食料・エネルギー除く総合)、前年比、%>



(資料) 総務省、内閣府などを基に日本総研作成

CPIと家計のインフレ予想



(資料) 総務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注1) 家計のインフレ予想は、「生活意識に関するアンケート調査」を用い、修正カールソン・パーキン法により推計。同調査は、2013年6月より消費税率引き上げの影響を除くベースで調査。

(注2) コアCPIは、消費税率引き上げの影響を除くベース。

自律拡大により景気は回復軌道への緩やかな復帰が持続

現状

景気分析

見通し

金利動向

◆在庫が当面重石も、徐々に自律拡大が強まり景気は底堅さを増す見込み

当面は、在庫調整に伴う下振れ圧力が景気の重石に。もっとも、①企業収益が堅調なほか低金利が続くなど投資拡大に向けた環境が引き続き良好なこと、②堅調な企業収益や人手不足を背景に所得雇用環境の改善が続いていること、などから、景気の自律的な拡大は徐々に明確化する見込み。ただし、輸出は財輸出で力強い拡大が期待しづらいほか、公共投資も頭打ち感が強まってくることなどから、景気回復は総じて緩やかなペースとなる見通し。

こうしたもとで、2015年度は、在庫調整の一巡とともに後半にかけて景気は底堅さを取り戻す見通し。

2016年度は、引き続き自律拡大メカニズムが作用する一方、①円安などを背景とする物価上昇の再加速を通じた実質所得の伸び悩み、②中国をはじめとする海外経済の成長鈍化、などが重石に。もっとも、年度末にかけては、2017年4月の消費増税に伴う駆け込み需要が景気を押し上げる見込み。

◆物価は内需持ち直しや円安による押し上げが徐々に顕在化

消費者物価は、足許原油価格の下落により当面伸び悩みが続く見込み。もっとも、内需の持ち直しや円安などが押し上げに作用し、2015年後半以降再び物価の騰勢が上向く見通し。

わが国主要経済指標の予測値(2015年8月3日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2015年				2016年				2017年	2014年度 (実績)	2015年度 (予測)	2016年度
	1~3 (実績)	4~6 (予測)	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3			
実質GDP	3.9	0.8	1.4	1.7	2.0	0.4	1.1	1.1	2.2	▲ 0.9	1.5	1.3
個人消費	1.5	1.0	1.2	1.2	2.2	▲ 0.4	0.8	1.3	5.9	▲ 3.1	1.3	1.2
住宅投資	7.0	3.7	3.5	3.3	3.0	2.8	2.8	4.2	5.5	▲ 11.7	1.5	3.3
設備投資	11.0	0.0	0.9	3.9	3.6	3.4	3.2	3.0	3.2	0.4	3.0	3.2
在庫投資 (寄与度)	(2.2)	(▲ 1.2)	(▲ 0.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.5)	(0.2)	(▲ 0.8)	(0.5)	(▲ 0.3)	(0.0)
政府消費	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.4	0.5	0.5
公共投資	▲ 5.9	2.7	1.3	▲ 0.8	0.0	0.0	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.2	2.0	0.0	▲ 0.4
純輸出 (寄与度)	(▲ 0.7)	(0.1)	(0.1)	(▲ 0.2)	(▲ 0.3)	(▲ 0.3)	(▲ 0.9)	(▲ 0.9)	(▲ 1.6)	(0.6)	(0.1)	(▲ 0.6)
輸出	9.9	3.9	4.8	5.1	4.3	3.3	2.8	2.8	2.8	8.0	6.6	3.6
輸入	12.2	2.4	4.2	5.6	5.3	5.2	6.0	6.0	8.9	3.7	5.7	5.7

(前年比、%)

名目GDP	2.5	2.5	3.6	3.1	1.6	1.7	1.8	1.7	1.8	1.6	2.7	1.8
GDPデフレーター	3.4	1.5	1.7	1.4	0.1	0.3	0.5	0.6	0.6	2.5	1.1	0.5
消費者物価 (除く生鮮)	2.1	0.1	0.3	0.6	1.0	1.3	1.2	1.3	1.4	2.8	0.5	1.3
(除く生鮮、消費税)	0.1	0.0	0.3	0.6	1.0	1.3	1.2	1.3	1.4	0.8	0.5	1.3
鉱工業生産	▲ 2.1	▲ 0.6	1.0	1.1	0.4	2.2	1.8	1.6	1.3	▲ 0.5	0.5	1.7

完全失業率 (%)	3.5	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.5	3.3	3.2
経常収支 (兆円)	4.42	3.50	3.27	1.27	3.72	1.66	3.46	1.91	4.80	7.93	11.76	11.83
対名目GDP比 (%)	3.6	2.8	2.7	1.0	3.0	1.3	2.8	1.4	3.7	1.6	2.3	2.3
円ドル相場 (円/ドル)	119	121	123	124	124	124	123	123	123	110	123	123
原油輸入価格 (ドル/バレル)	56	60	60	57	63	64	66	68	70	91	60	67

(資料) 内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

(注1) 2017年4月に消費税率引き上げ(8%→10%)が実施されると想定。

(注2) 2015年7月31日弊社公表の2015年4~6月期1次QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2014年 (実績)	2015年 (予測)	2016年
米国	2.4	2.3	2.8
ユーロ圏	0.8	1.3	1.6
中国	7.4	6.9	6.8

過去の実質GDP予測

(前年比、%)

	2014年度 (実績)	2015年度 (予測)	2016年度
5月号	▲ 0.9	1.7	1.5
6月号	▲ 1.0	1.4	1.3
7月号	▲ 0.9	1.5	1.3

長期金利は横ばい圏での低位推移が続く見込み

現状

景気分析

見通し

金利動向

◆日銀は現状の金融政策を維持

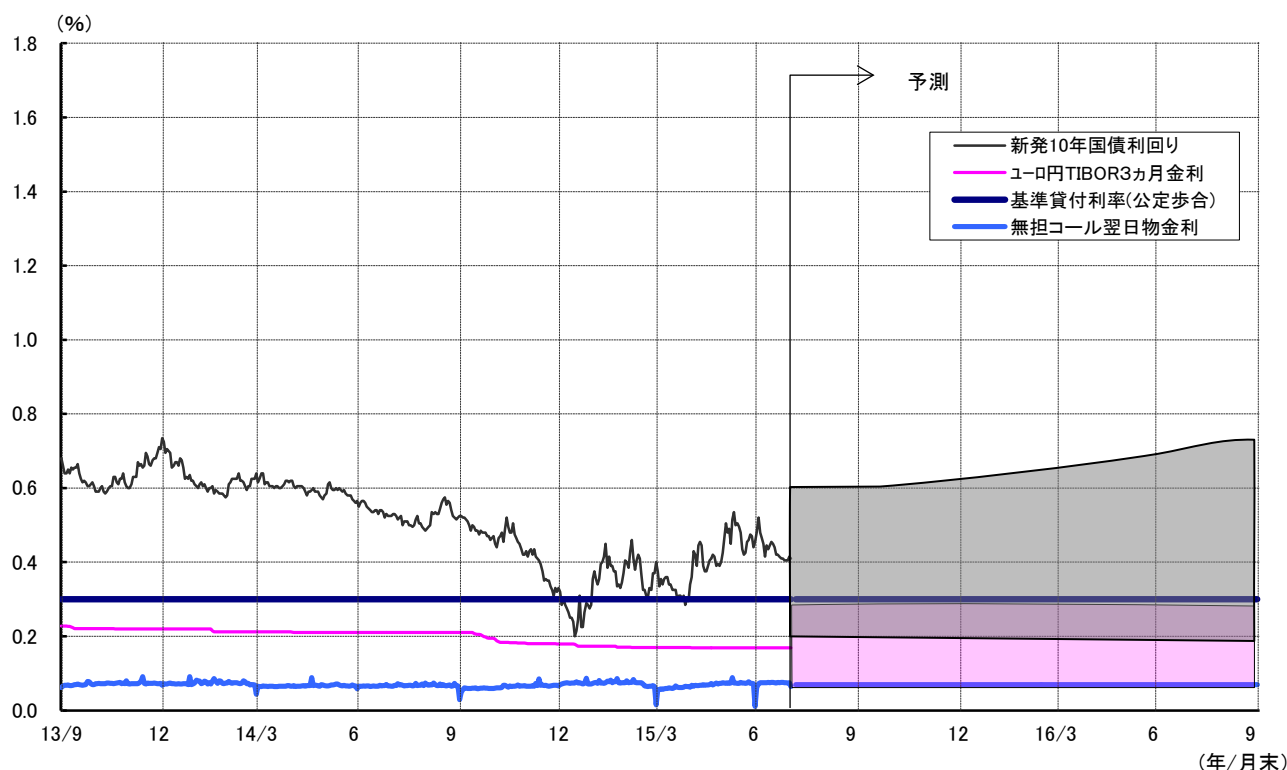
日銀は、7月14、15日の定例会合で、マネタリーベースが年間約80兆円のペースで増加するよう金融市場調節を行う、という現状の金融政策の維持を決定。日銀は、原油価格の下落が物価を下押しするなかでも、インフレ期待や物価の基調的な動きは安定していると判断。原油安の影響が剥落するに従い消費者物価の伸びは前年比+2%に向けて高まるとの見通しを示しており、当面は、現状ペースでの資産買い入れを続ける見込み。

◆長期金利は日銀の国債買い入れなどにより低位での推移が続く見込み

長期金利は、海外金利の上昇や、株価の上昇などを受けた投資家のリスク回避姿勢の緩和が金利上昇に作用する局面がみられるものの、日銀の国債買い入れが恒常的に金利下押しに作用するなか、低位での推移が持続。

長期金利の先行きを展望すると、当面、横ばい圏での低位推移が続く見込み。内外景気に不透明感が残るほか、日銀による中長期債の買い入れも需給面から金利低下に作用。もっとも、内外景気の先行き不透明感が払拭されていけば、米国金利の上昇や消費者物価の上昇期待などを背景に、金利上昇圧力が徐々に強まる可能性も。

わが国主要金利の見通し



	2014年		2015年				2016年		
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
無担コール/O/N誘導目標	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
基準貸付利率(公定歩合)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
ユーロ円TIBOR3ヵ月物金利	0.21	0.19	0.17	0.17	0.18	0.20	0.20	0.20	0.20
円スワップ5年物金利	0.26	0.24	0.24	0.27	0.27	0.30	0.32	0.32	0.33
新発10年国債利回り	0.53	0.44	0.34	0.40	0.40	0.43	0.44	0.45	0.46

(注) 無担コール・基準貸付利率は末値。
その他は期中平均値。

予測

金融政策：展望レポートの中間評価

現状

景気分析

見通し

金利動向

○日銀は景気・物価見通しを概ね維持

日銀は、7月14、15日の金融政策決定会合で、4月展望レポートの中間評価を実施。経済見通しは、足許の輸出・生産の弱さを反映し、2015年度の成長率をやや下方修正したものの、企業収益や設備投資が増加基調にあることや、雇用・所得環境の着実な改善が続いていることなどから、足許の弱い動きは一時的と判断。2016、17年度の見通しについては、4月時点の予測を維持。消費者物価（除く生鮮食品）の先行きも、概ね展望レポートの見通しに沿って推移する見込みであるとし、前年比が2%程度に達する時期は、「2016年度前半頃」との見方を維持。

○今後はエネルギー以外の品目で物価の上昇基調が一段と強まるかが焦点

足許では、原油価格の下落を受けたエネルギー価格の低下が、コアCPIの前年比を下押ししているものの、食料品などエネルギー以外の品目では、価格上昇基調が維持されていることから、日銀は物価の基調に変化はみられていないと判断。今後の金融政策を展望するにあたっては、エネルギー以外の品目の価格上昇基調が、年度後半にかけて、日銀のシナリオ通りに一段と強まるかどうかの焦点に。

政策委員の大勢見通し

(対前年度比、%)

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	消費税率引き上げの 影響を除くケース
2015年度	+1.5 ~ +1.9 <+1.7>	+0.3 ~ +1.0 <+0.7>	
4月時点	+1.5 ~ +2.1 <+2.0>	+0.2 ~ +1.2 <+0.8>	
2016年度	+1.5 ~ +1.7 <+1.5>	+1.2 ~ +2.1 <+1.9>	
4月時点	+1.4 ~ +1.8 <+1.5>	+1.2 ~ +2.2 <+2.0>	
2017年度	+0.1 ~ +0.5 <+0.2>	+2.7 ~ +3.4 <+3.1>	+1.4 ~ +2.1 <+1.8>
4月時点	+0.1 ~ +0.5 <+0.2>	+2.7 ~ +3.4 <+3.2>	+1.4 ~ +2.1 <+1.9>

(資料) 日本銀行

(注) <>内は政策委員見通しの中央値。2017年度の見通しは今回から公表。

7月決定会合での経済・物価情勢の判断

現状判断	景気は緩やかな回復が続いている。企業収益が改善するなかで、業況感は総じて良好な水準を維持しており、設備投資は緩やかな増加基調にある。雇用・所得環境の着実な改善を背景に、個人消費は底堅く推移しているほか、住宅投資も持ち直しつつある。
見通し	物価面では、消費者物価(除く生鮮食品)の前年比は、0%程度となっている。予想物価上昇率は、長い目でみれば、全体として上昇している。 先行きのわが国経済については、緩やかな回復基調を続けていくとみられる。 消費者物価の前年比は、エネルギー価格下落の影響から、当面0%程度で推移するとみられる。 4月の「展望レポート」で示した見通しと比べると、成長率は、2015年度について幾分下振れる一方、2016年度、2017年度については概ね不変である。消費者物価は、概ね見通しに沿って推移すると見込まれる。

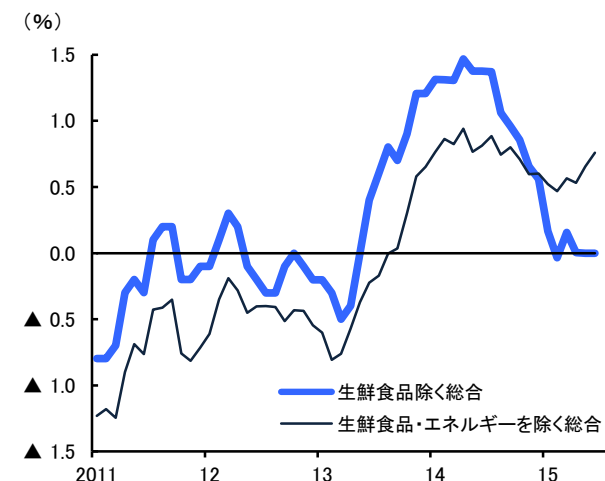
(資料) 日本銀行を基に日本総研作成

記者会見での黒田総裁の発言内容(7月15日)

- ※ 生鮮食品を除く消費者物価の前年比は、当面0%程度で推移するとみられるが、物価の基調が着実に高まり、原油価格下落の影響が剥落するに伴って、「物価安定の目標」である2%に向けて上昇率を高めていく。
- ※ 2%程度に達する時期は、2016年度前半頃になると予想。
- ※ 日本経済の4~6月の若干弱い状況が、7~9月以降ずっと続くとはみていない。一種の足許調整として、2015年度の成長率がやや下振れた。
- ※ 「物価安定の目標」自体は、ヘッドライン(総合)の消費者物価指数で2%を目標。ただ、物価の基調をみていく必要があり、その際には、生鮮食品を除く消費者物価指数で基調をみている。加えて、大きな原油価格の下落が昨年の秋から起こり、その動きを除いた指標やその他様々な指標をみながら、金融政策は運営していくことになる。

(資料) 日本銀行を基に日本総研作成

消費者物価指数の前年比



(資料) 総務省を基に日本総研作成

(注) 消費税率引き上げの影響を調整。

内外市場データ（月中平均）

	短期金利 無担0/N (%)	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
		3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
11/12	0.09	0.33	0.43	0.38	0.49	1.00	0.14	1.01	1.48	1.40	77.84	102.35	8505.99	732.53	0.07	0.56	1.97	12075.68	1.43	1.99
12/1	0.09	0.33	0.43	0.37	0.47	0.98	0.13	0.98	1.48	1.40	76.93	99.33	8616.71	744.40	0.08	0.57	1.93	12550.89	1.22	1.86
12/2	0.10	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.12	0.97	1.48	1.40	78.60	104.06	9242.33	799.32	0.10	0.50	1.96	12889.05	1.05	1.90
12/3	0.09	0.33	0.44	0.35	0.49	1.04	0.12	1.01	1.48	1.36	82.55	109.07	9962.35	850.37	0.13	0.47	2.16	13079.47	0.86	1.88
12/4	0.09	0.33	0.44	0.35	0.45	0.98	0.11	0.95	1.48	1.35	81.27	106.99	9627.42	817.43	0.14	0.47	2.03	13030.75	0.74	1.73
12/5	0.10	0.33	0.44	0.35	0.43	0.89	0.11	0.86	1.48	1.31	79.68	101.90	8842.54	745.33	0.16	0.47	1.78	12721.08	0.69	1.46
12/6	0.09	0.33	0.44	0.34	0.40	0.84	0.10	0.84	1.48	1.30	79.35	99.57	8638.08	733.19	0.16	0.47	1.61	12544.90	0.66	1.43
12/7	0.10	0.33	0.43	0.30	0.36	0.77	0.10	0.78	1.48	1.26	78.98	97.09	8760.68	746.00	0.16	0.45	1.50	12814.10	0.50	1.31
12/8	0.10	0.33	0.43	0.30	0.37	0.81	0.10	0.80	1.48	1.25	78.68	97.59	8949.88	748.73	0.13	0.43	1.67	13134.90	0.33	1.42
12/9	0.09	0.33	0.43	0.29	0.36	0.80	0.10	0.80	1.48	1.25	78.16	100.62	8948.59	742.65	0.14	0.39	1.70	13418.50	0.25	1.55
12/10	0.10	0.33	0.43	0.26	0.33	0.78	0.10	0.77	1.48	1.25	79.01	102.47	8827.39	736.24	0.16	0.33	1.72	13380.65	0.21	1.52
12/11	0.10	0.32	0.42	0.26	0.31	0.75	0.10	0.74	1.48	1.21	81.05	104.07	9059.86	753.21	0.16	0.31	1.65	12896.44	0.19	1.39
12/12	0.10	0.32	0.41	0.22	0.28	0.77	0.10	0.74	1.48	1.20	83.91	110.16	9814.38	811.87	0.16	0.31	1.71	13144.18	0.19	1.36
13/1	0.10	0.30	0.40	0.21	0.30	0.80	0.09	0.78	1.48	1.20	89.10	118.53	10750.85	901.20	0.14	0.30	1.88	13615.32	0.21	1.56
13/2	0.10	0.28	0.38	0.21	0.29	0.79	0.04	0.75	1.48	1.16	93.13	124.24	11336.44	961.02	0.15	0.29	1.97	13967.33	0.22	1.60
13/3	0.09	0.25	0.35	0.22	0.28	0.72	0.05	0.61	1.48	1.15	94.87	122.92	12244.03	1028.55	0.14	0.28	1.94	14418.26	0.21	1.41
13/4	0.09	0.24	0.33	0.25	0.37	0.73	0.11	0.57	1.48	1.18	97.75	127.35	13224.06	1110.41	0.15	0.28	1.73	14675.91	0.21	1.25
13/5	0.09	0.23	0.33	0.27	0.48	0.92	0.13	0.77	1.48	1.24	100.99	131.05	14532.41	1203.38	0.11	0.27	1.92	15172.18	0.20	1.37
13/6	0.09	0.23	0.33	0.27	0.50	1.01	0.13	0.85	1.48	1.29	97.29	128.40	13106.62	1089.48	0.09	0.27	2.29	15035.75	0.21	1.62
13/7	0.08	0.23	0.33	0.27	0.48	1.01	0.13	0.83	1.48	1.33	99.64	130.47	14317.54	1186.91	0.09	0.27	2.56	15390.21	0.22	1.63
13/8	0.09	0.23	0.33	0.26	0.43	0.95	0.11	0.76	1.48	1.31	97.80	130.25	13726.66	1145.42	0.08	0.26	2.73	15195.35	0.23	1.80
13/9	0.09	0.23	0.33	0.26	0.42	0.91	0.11	0.72	1.48	1.30	99.19	132.53	14372.12	1185.18	0.08	0.25	2.80	15269.84	0.22	1.93
13/10	0.08	0.22	0.32	0.22	0.36	0.79	0.10	0.64	1.48	1.23	97.83	133.43	14329.02	1188.51	0.09	0.24	2.60	15289.29	0.23	1.81
13/11	0.09	0.22	0.32	0.21	0.35	0.78	0.10	0.61	1.48	1.20	100.11	135.13	14931.74	1222.90	0.08	0.24	2.71	15870.83	0.22	1.72
13/12	0.09	0.22	0.32	0.20	0.37	0.86	0.09	0.68	1.48	1.20	103.60	141.96	15655.23	1254.45	0.09	0.24	2.89	16095.77	0.27	1.85
14/1	0.09	0.22	0.32	0.21	0.36	0.87	0.09	0.68	1.48	1.24	103.88	141.51	15578.28	1275.17	0.07	0.24	2.85	16243.72	0.29	1.80
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.11	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.13	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76